

クニヒロ卓球本間新聞

第24弾

24弾... という事は、今回で
ちょうど2年になりますね。こんな
手書きで字の汚ない新聞を、笑顔で

書いてくれています。ありがとうございます。
皆さんのお笑顔を本間新聞

楽しませて下さいます。これからも
楽しんで書いて下さいます。ハハハ

さてさて、今月号は、「スピードドライブ」
スピードドライブは、フワフワです。

ドライブは、フワフワでも色々なドライブが
あります。一つずつ覚えていきましょう。



今月は14日(月)が祝日の為、お休みなさ
るので、お間違えのないよう、お願いしま
す。

急に涼しくなってきましたね。体調管
理をしっかりと、10月もクニヒロ卓球で、

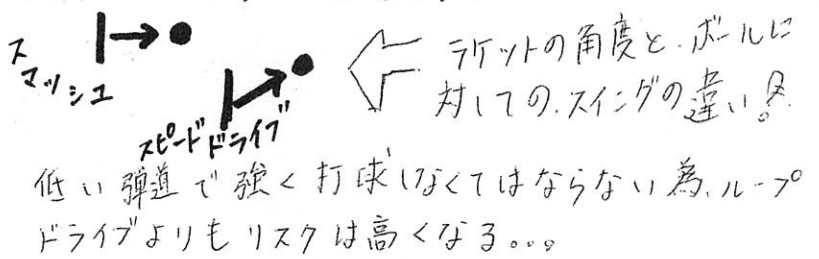
良い汗流しませう。皆様の到来
を心よりお待ちしております。
10月13日結婚します。(照)



“” ループドライブ & スピードドライブ “”

まずループドライブとは、多くの
回転をボールにかけて、高い弾道で、ネットを
捕らうように打つことである。
高い弾道でボールが飛んでいくので、
安定性が高い。しかし、回転がしっかりと
かからないと、高いだけのチャンスボール
になってしまう為、回転をかけるという
ことが非常に大切である。高く打とうと
すると、距離が出せなくなりがちです。
そこで、ボールの頂点を自分のコート上
になるように打球すること、絶対にオバミスと
することは、ありません。

スピードドライブとは、もちろんドライブなので回転
は入らなくてもいいですが、回転よりも、スピード
を重視したドライブのことである。低い弾道でボール
を飛ばさなくてはいい。高い弾道で前に打って
スピードを出すという事は、不可能である。その為、スピード
を出して、相手コートにボールを入れたければ、必ず低い
弾道でなくてはならない。
スピードドライブは、スマッシュとは違い、回転をかけた
スピードも出さなくてはならない。



基本的に、ループドライブがなくては、スピードドライブは効かない。逆にスピードドライブがなくては、ループ
ドライブは効かない。スピードと回転の変化・差・量というものが相手を迷わせる。
どんなに良いドライブを打っても、一定のスピードと回転では、相手に慣れられてしまう。
その為、まずは、ループドライブで、しっかりとボールをこする感覚を身に付け、少しずつ、スピードドライブ
の練習をしていくというのが、知事の良い練習法である。このドライブを打ち始める時に、
大事なポイントは、スイングの方向である。ループドライブは、下から上にスイングする。スピードドライブは、
下から前にスイングする。この事を意識して練習してみよう。不明点はコーチまで。